

8^キコース

平嶽を折り返し、片側ダム経由のコース。午前10時にスタートし、甘夏畑を抜ける急な坂を上り、平嶽にたどり着くと、景色を眺めながらひと休みする参加者や天草灘に浮かぶ島々を背景に記念撮影する参加者など、獅子島の自然を満喫しました。

写真 収穫直前の甘夏畑の中をウォーキング



18^キコース

七郎山山頂や化石群の地層を経由するコース。午前10時にスタートし、長い上り坂に挑戦しました。疲労を隠せない参加者も見られましたが、山頂では360度に広がる景色のすばらしさに、これまでの疲れも吹き飛んだ様子でした。

御所ノ浦では、住民たちが、通りかかる参加者へポンカンをプレゼントして、喜ばれていました。

写真 山頂で360度の眺望楽しむ

起伏の激しい難コースに挑む

獅子島七郎山ウォークラリー 2007

鹿児島県最北端の島「獅子島」で2月4日、『獅子島七郎山ウォークラリー 2007』が盛大に開催されました。大会には、県内はもとより、熊本市、天草市などから約750人が参加しました。

参加者は、獅子島アイランドセンターを発着点とする、オレンジ色に染まった甘夏畑などを巡る8^キと、七郎山（標高393^m）山頂を経由して御所ノ浦集落などを巡る18^キの起伏の激しい2つの難コースに挑みました。

豊かな自然や絶景を楽しむ

獅子島小学校の児童による竹太鼓の音色が響き渡る中、参加者は花火の合図で一斉にスタート。それぞれのコースを豊かな自然や絶景を楽しみながらマイペースで歩きました。

獅子島山頂やアイランドセンターでは、地元婦人会がアオサ汁とおにぎりをサービス。手作りの味で参

加者をもてなしました。

ゴール後は、ブリやタイ、デコボンなどの特産品が当たる抽選会も行われ、お目当ての品が当たると、ガッツポーズしながら受け取る姿などが見られました。

無料で行われた甘夏のみかん狩りも人気で、会場のあるあちらこちらで、袋いっぱい甘夏を手にした参加者が目立ちました。

